

大会名称: 第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: 鬼北総合公園体育館 Bコート

試合区分: No. 5 少年男子 準々決勝

期 日: 2017(H29)年10月2日(月)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30



主審: 茂泉 圭治

副審: 那須 弘幸

<p>京都</p> <p>(近畿)</p>	<p>○</p> <p>98</p>	<p>22 — 12</p> <p>24 — 18</p> <p>26 — 15</p> <p>26 — 26</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>71</p>	<p>山口</p> <p>(中国)</p>
-----------------------	--------------------	--	--------------------	-----------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	罇 拓真	10	2	2	0	1	2	1
5	*	南 天仁	3	0	1	1	2	0	2
6	*	津田 誠人	13	0	5	3	2	9	1
7		小西 聖也	15	0	5	5	1	0	5
8		田中 智也	3	1	0	0	2	0	0
9		カロンジカボンゴ バトリック	16	0	8	0	2	12	0
10		吉田 竜丸	0	0	0	0	0	0	0
11		狩野 皓介	0	0	0	0	1	0	0
12		大橋 大空	3	0	1	1	1	1	3
13	*	飯尾 文哉	12	0	6	0	0	3	0
14		納土 修汰	4	0	2	0	1	1	2
15	*	グランダムベラモンポ クリスティン	19	0	9	1	1	9	0
HC		吉田 裕司 / TEAM							
		合計	98	3	39	11	14	37	14

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	田中 吾歩	5	0	2	1	2	2	3
5	*	二見 健太	11	0	5	1	1	3	0
6	*	岸本 大輝	11	1	4	0	3	2	6
7		綿原 唯人	0	0	0	0	0	0	0
8		近藤 優斗	6	0	2	2	4	5	0
9	*	喜志永 修斗	8	1	2	1	1	4	4
10		田邊 開	0	0	0	0	0	0	0
11		原田 裕太	0	0	0	0	2	0	0
12		田中 大翔	9	2	1	1	2	1	1
13		後藤 心太郎	5	1	1	0	1	0	0
14	*	刀祢 海夢	10	2	2	0	0	1	0
15		坂口 竜也	6	0	3	0	0	2	0
HC		高部 貴透 / TEAM							
		合計	71	7	22	6	16	20	14

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタートし、攻守の切り替えの早い展開が繰り返される。山口県は速いパスワークからの1対1を試みるが、高さに勝る京都府からゴールが奪えない。一方、京都府は#15の連続得点、#13のファストブレイクにより得点を重ねる。13-7となり山口県は1回目のタイムアウト。終盤、山口県は3-2ゾーンに切り替え、チャンスを見出そうとするが、京都府は追い上げを許さない。22-12で第1ピリオド終了。

第2ピリオド、京都府は、#9の高さを生かした攻撃で得点を重ねる。対する山口県も体を張ったディフェンスで突破口を見出し、#6の得点、#8のバスケットカウントで必死に食ひ下がる。しかし、京都府は#9を中心に攻撃し得点を重ねる。46-30と京都府リードで前半終了。

第3ピリオド、出だしから京都府はゾーンプレスなどで山口県に圧力をかける。山口県は#4、#9が試合を組み立てるが、流れをつかむことができない。激しいプレッシャーディフェンスから安定した得点を重ねた京都府が、72-45と大きくリードして終了。

第4ピリオド、山口県はオールコートでプレッシャーをかけて、攻守ともに総力を上げて反撃を試みる。しかし、京都府は#9、#15を中心として得点を重ね、98-71で勝利した。京都府が終始安定した力を見せた試合であったが、最後まであきらめずに戦った山口県の懸命さも称えたい。

担当者: 西田 卓史(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

